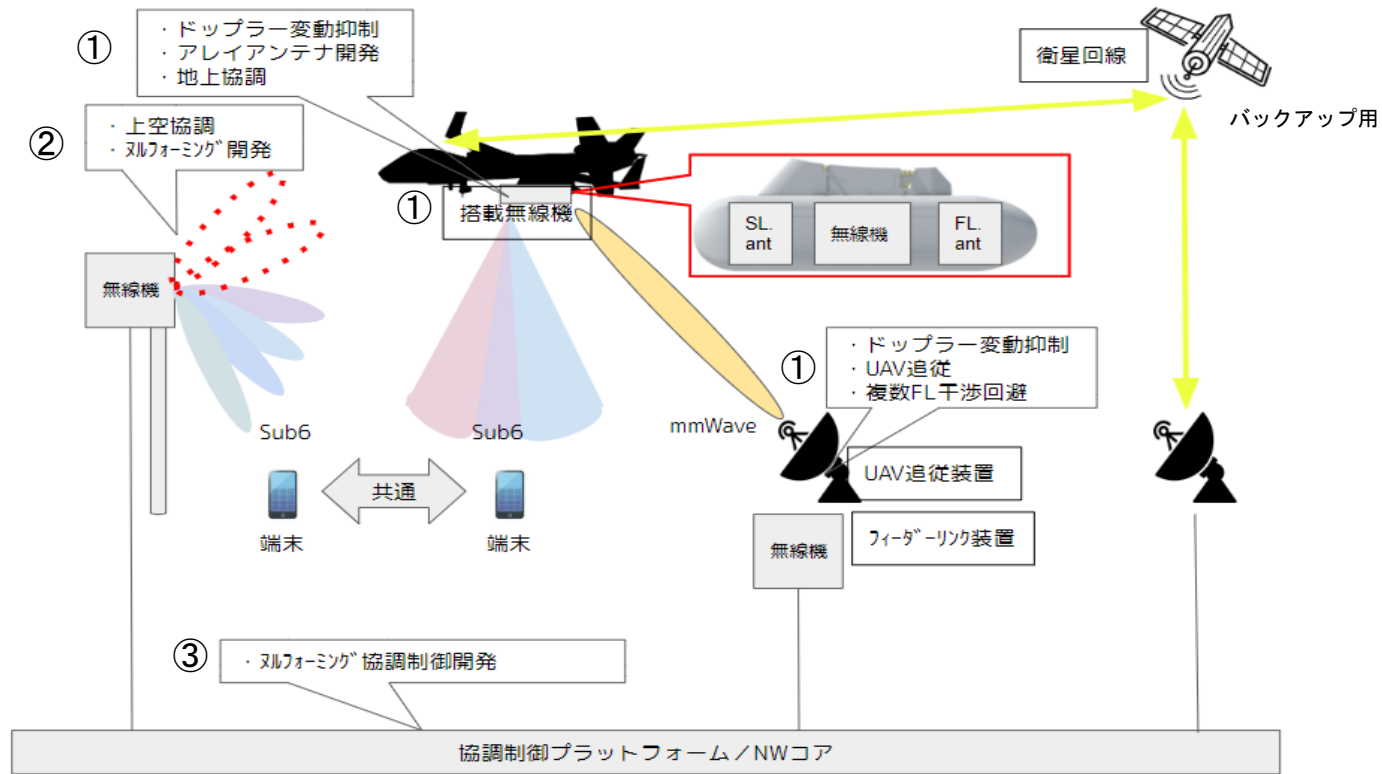


(基幹課題076) 災害時の応急エリアカバレッジのための無線通信技術の研究開発

研究概要：携帯通信が不通となったエリアでの迅速な臨時移動通信インフラの構築を実現するために高速UAV（Unmanned Aerial Vehicle）を活用した以下の研究開発を実施し、早期実用化を目指す。

- ① 高速航行する際の電波への影響を実測・検証し、運行パターンに適した「変動抑制及びUAV追従技術」の研究開発
- ② 地上と上空のシステムを同一周波数帯で運用する際の干渉を抑制するための「ヌルフォーミングシステム」の研究開発
- ③ 事前に調整することなく、地上と上空のシステム間の連携を実現させる「協調制御プラットフォーム」の研究開発

高速UAVにて迅速に広域エリアの通信を復旧させ、上空と地上の残存基地局間の干渉を周波数効率良く自動抑制する。更に既存の一般的な端末をそのまま利用可能



【契約期間】 令和5年度（継続評価予定） 【契約総額】 約23.4億円

【受託者】 ソフトバンク株式会社（代表研究者）